

# PRESS RELEASE

2023年10月23日

## 長谷エコーポレーション・パナソニック建設エンジニアリング マンションに純水素型燃料電池を採用 住戸に給電 ～自社賃貸マンション「サステナブランシェ本行徳」に実験住戸を設置～

株式会社長谷エコーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：池上 一夫）とパナソニック建設エンジニアリング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：南畑 亮）は共同で、カーボンニュートラル時代を見据えたマンションにおける水素エネルギーの活用方法として、純水素型燃料電池による住戸への給電を実現します。現在、当社グループで推進している自社賃貸マンションプロジェクト「サステナブランシェ本行徳」（千葉県市川市 以下、本プロジェクト）に、純水素型燃料電池※1を設置し、住戸で使用する電力の一部を賄う実証実験に2023年10月より着手いたしました。

※1 高純度の水素と空気中の酸素を化学反応させ電気エネルギーをつくる電池

国内で初めて、既存社宅を全面改修し建物運用時のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを実現する本プロジェクトでは、パナソニック株式会社製の純水素型燃料電池「H2 KIBOU」（1基当たり発電出力5kW）をパナソニック建設エンジニアリングが施工設置し、住戸で使用する電力の一部を賄います。純水素型燃料電池は、CO<sub>2</sub>を排出せずに発電することが可能で、政府の「GX実現に向けた基本方針」において明記されたGXに向けた脱炭素の取り組みにも寄与します。

今後は、来たるべき「水素社会実現」に向け、本プロジェクトで得られた知見を活かすとともに、水素エネルギーの活用方法について研究・実証を進め、マンションにおける純水素型燃料電池の活用範囲の拡大を図って参ります。

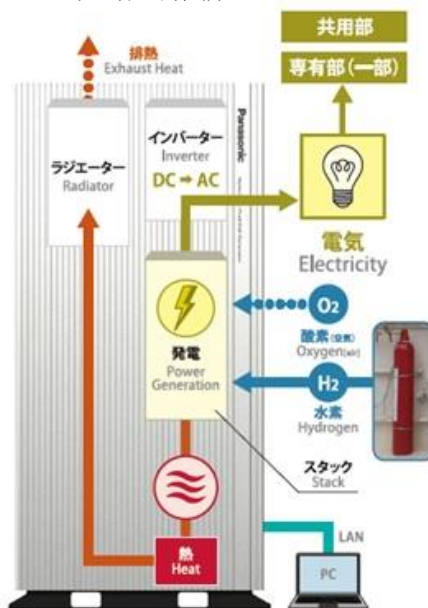
### 【純水素型燃料電池「H2 KIBOU」の特長】

1. 天候に左右されず5kWの安定した発電が可能。
2. 機器の連結により、最大50kW（10台連結）の出力に対応。
3. 発電効率56%（LHV）と業界最高※2の発電効率を実現。
4. 起動時間が約1分。ピークカット運転にも利用可能。

※2 2021年10月1日発売時点、純水素型燃料電池の発電効率においてパナソニック株式会社調べ



現地設置風景



概念イラスト

(本プロジェクト概要)

所在地：千葉県市川市本行徳 5-16  
交通：東京メトロ東西線 妙典駅 徒歩 6 分  
敷地面積：1,651.83 m<sup>2</sup> (499.68 坪)  
延床面積：3,071.06 m<sup>2</sup> (928.99 坪)  
構造・戸数：鉄筋コンクリート造 地上 5 階建 36 戸  
既存建物：1990 年 2 月  
竣工時期：2023 年 9 月  
事業主：株式会社長谷工コーポレーション  
設計・施工：株式会社長谷工リフォーム  
U R L：<https://www.haseko.co.jp/sustainabranche/>



建物運用時 CO2 排出量実質ゼロ実現に向けた取組み